

サンドコンパクションパイル(SCP)工法

サンドコンパクションパイル(SCP)工法は、軟弱な地盤に砂杭をケーシングを用いて拡径しながら打設し、軟弱地盤の改良を行う工法です。

特長

砂地盤に適用すると、N値が増加し、地震時の液状化を防ぐことができます。

軟弱粘土地盤中に砂杭を造成することにより、円弧すべりに対する安全率を増加させることができます。

施工手順

ケーシングパイプの位置決め

ケーシングを貫入しながら
中詰砂を投入

ケーシングパイプを引き抜き
ながら砂杭の拡径

杭の造成完了

次打設

施工機械



海上作業船



陸上施工機

施工実績

工事名	工期	施工場所	発注者	目的	打設長 / 打設本数 / 対象土量
南本牧埠頭建設工事	90.9 ~ 90.12	横浜市	横浜市	護岸基礎地盤の強度増加	30.0m / 5 400本 / 58 400m ³
七尾太田火力発電所工事	91.2 ~ 94.6	石川県	北陸電力(株)	護岸基礎地盤の強度増加	7.5m / 7 510本 / 136 800m ³
大竹港修築造工事	95.3 ~ 95.8	広島県	広島県	岸壁基礎地盤の強度増加	22.5m / 6 470本 / 115 300m ³
摩耶岸壁築造工事	95.5 ~ 97.2	神戸市	運輸省	岸壁基礎地盤の強度増加	20.0m / 6 980本 / 148 500m ³
東京空港滑走路地盤改良工事	97.10 ~ 99.3	東京都	運輸省	滑走路の液状化対策	13.0m / 6 630本 / 430 500m ³